

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年2月8日（火）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアX

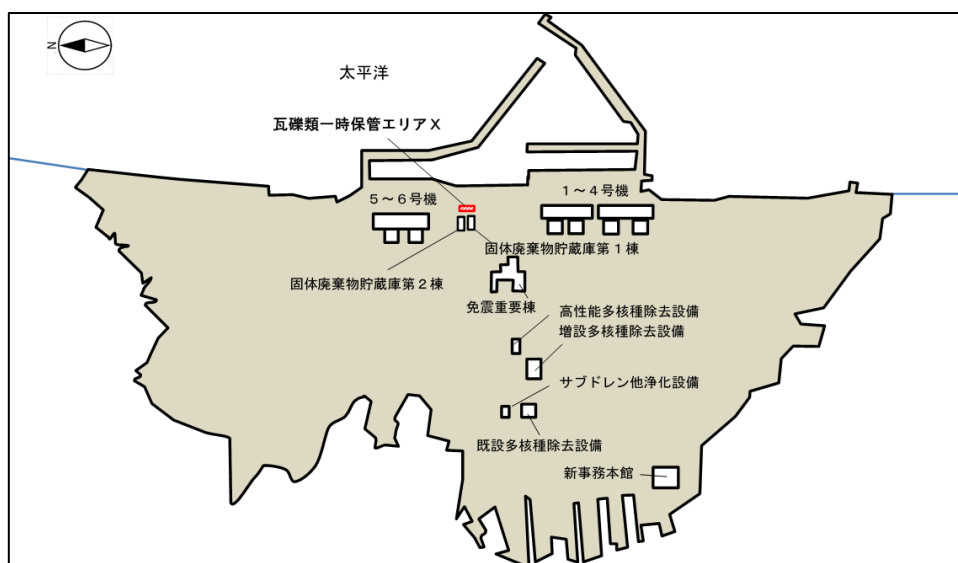
3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアXにおける収納容器のシート養生状況

4 確認結果の概要

昨年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管されていたコンテナから放射性物質が漏えいした事象が確認され、6月～8月には一時保管エリアX及びP2で保管されていたコンテナやノッチタンクからの溜まり水の漏えいが、一時保管エリアW1でコンテナの一部の天板に穴があることが確認された。これらを踏まえ、東京電力では飛散抑制対策（容器収納、シート養生）が必要な瓦礫類を保管している収納容器（コンテナ、ノッチタンク）に仮設シート養生を実施し（ノッチタンク：8月24日完了 コンテナ：9月28日完了）、仮設シート養生完了後、本年3月完了を目途に本設シート養生を実施するとしていることから、一時保管エリアXにおける収納容器の本設シート養生状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和3年7月30日](#)）

- 一部の収納容器には耐候性のある厚手のシートによる本設シート養生が実施されていた。
また、これから本設シートを養生するコンテナ上には安全帯のフックを掛けるための親綱と親綱を通すための親綱支柱が設置されていた。（写真1）
- 一部のコンテナの周囲には、養生するための本設シートが仮置きされていた。（写真2）
- 一部のコンテナには歪みや劣化が見られ、それらの蓋部分にはウレタンフォームの発泡剤が吹き付けされていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



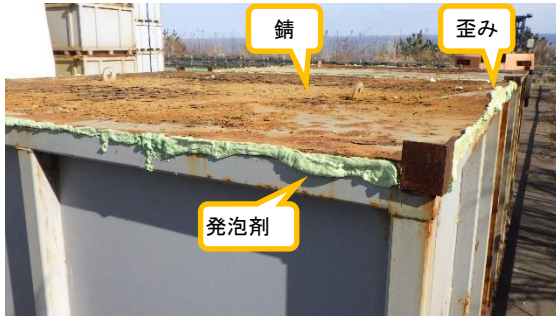
(写真1-1)
一時保管エリアXの状況①
(令和3年7月30日南側から撮影)



(写真1-2)
同左
(令和4年2月8日南側から撮影)



(写真2)
使用前の本設シートの状況



(写真3)
劣化したコンテナの状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。